



## 2013-2014 年度 第 1553 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：仲田俊夫 幹事：田口久雄 会報委員長：藤島 拓  
 例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ ≪水曜 12：30≫  
 事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内  
 TEL:028-635-5511 (ホテルニューイタヤ)



10月 第4例会  
 2013年10月23日(水)  会員数 45名 出席 34名



司会 磯貝 太 S. A. A

- ロータリーソング「それでこそロータリー」



ガバナー補佐訪問

- 第2550地区 第3グループB 村上芳弘 ガバナー補佐



会長挨拶 仲田俊夫 会長

皆さんこんにちは。

台風の後、大分涼しくなりましたので、体調を崩さぬ様お気を付け下さい。

本日は、村上芳弘ガバナー補佐訪問です。村上ガバナー補佐、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

本日例会終了後、南高等学校でインターアクトクラブ締結式が行われます。関実行委員長をはじめ、喜内会員、小林会員、委員会の皆様方が毎日のように南高等学校に通い、実現した事です。本当に皆様には感謝申し上げます。12月14日認証状伝達式には皆様のご参加をよろしくお願い致します。

新入会員3名の確保が出来、水原さんが再入会される予定です。あと2名の入会で目標達成となりますので、皆様のご推薦をお願い致します。

本日が皆様方に有意義でありますよう、願って挨拶と致します。



新入会員入会式

黒崎 文博 会員 (くろさき たけひろ)  
 (株)輝工業 工事部長

推薦者：塩田 潔 会員



**ロータリー財団・米山記念奨学会 特別寄付**

ロータリー財団 寄付 合計 6,000 円      米山記念奨学会 寄付 合計 1,000 円

**幹事報告 田口久雄 幹事**

## § 現況報告書訂正

- ・ P62・63 訂正シール作成
- ・ P23 会員名簿・P56 職業分類表 酒澤会員  
会社名（正）フロントホイール（誤）プリントホイール
- ・ P23 杉本会員推薦者 （正）岩本一男 （誤）仲田俊夫

§ 本日 1:30 より、クラブ協議会を開催致します。村上ガバナー補佐のご指導となりますので、全会員の出席をお願い致します。

**スマイル BOX 委員会 若林博純 委員長**

## § 村上芳弘ガバナー補佐

本日は、ガバナー補佐としての訪問ですが、よろしく願い申し上げます。

§ 仲田俊夫会長 村上ガバナー補佐、卓話よろしく願い致します。

§ 塩田 潔会員 今日は、村上ガバナー補佐の訪問、よろしく願い致します。楽しみにしております。又、本日、新入会員の黒崎君をよろしく願い致します。野球部のホープです。

§ 田口久雄幹事 村上ガバナー補佐、本日はようこそお越し下さいました。歓迎致します。よろしく願い致します。

§ 笠原正人会員 村上ガバナー補佐、ご苦労様です。お手柔らかにお願いします。

§ 鈴木秀明会員 村上ガバナー補佐様、大変ご苦労様です。

§ 佐々木隆会員 久々の出席となってしまいました。村上ガバナー補佐、今日はよろしく願い致します。

§ 藤島 拓会員 村上ガバナー補佐、本日はよろしく願い致します。

§ 青木克浩会員 度々菩提寺でお会いする村上ガバナー補佐の卓話を楽しみにしております。

§ 喜内敏夫会員 10月20日26日ぶりにネパールから帰国しました。日本は寒くて困ってしまいます。登山隊はチュリー峰(6,038m)に6名中3名が登頂しました。私も登頂したかったのですが、5,600mで体調不良のため、登頂を諦めましたが、楽しい山登りが出来ました。また、機会をつくってネパールの山登りに行きたいと思えます。

§ 小林 裕会員 仕事も絶好調。インターアクトも頑張っています。

§ 田中正夫会員 昭和62年10月23日に税理士登録しました。26年前です。

§ 藤井康夫会員 栃木SCのチケットを、うちの子供のサッカーチームで戴きました。ありがとうございます。お礼にスマイルします。

§ 中野智之会員 30日の夜間例会の返信ありがとうございます。

§ 若林博純委員長 米の集荷も一段落しました。今日から復活しますので、よろしくお願い致します。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました。 今週の金額 26,000 円  
 亙理ロータリークラブワンコイン支援 今週の金額 1,914 円



## インターアクト実行委員会報告 関享一 実行委員長

本日、PM4:00 より、南高等学校に於いて、結成会合がございますので、大勢の皆様方のご出席をお願い致します。(これまでの経緯発表)

12月14日 PM1:30 より、南高等学校に於いて、認証状伝達式・祝賀会を行います。

名称：栃木県立南高等学校 南風インターアクトクラブ



## ガバナー補佐卓話

### 第 2550 地区 第 3 グループ B

村上芳弘 ガバナー補佐 (宇都宮南 RC)



皆様こんにちは。

黒崎さんご入会おめでとうございます。また一人、若い会員が増え平均年齢も 60 歳を切ると思います。大変うれしい事で、若い方々がどんどん入会するようにと願っております。

私の今日の服装は、赤いネクタイとバッチを 2 つ着けております。これは、飯村ガバナーより戴いたものですので、お力添えをしなくてはならないと思っております。

今年度がスタートしてからガバナー補佐として、宇都宮陽東ロータリークラブと宇都宮陽南ロータリークラブを訪問して参りました。本日はホームクラブですから、少しホッとしたところがあります。振り返ってみますと先日の夏期交換留学生を迎え、ホストファミリーをお引き受けして下さった佐々木会員と嶋田会員には、改めて心から御礼を申し上げます。宇都宮南ロータリークラブは宇都宮東ロータリークラブをスポンサークラブとして、1982 年 12 月 20 日に誕生致しました。現在、チャーターメンバーとして米光啓彌会員と笠原正人会員のお二人だけです。私は笠原会員の推薦で、入会して友人としても良い指導をして戴いています。この宇都宮に住み、笠原会員との出会いが私の多くの出会いの中では最良の出会いとなり、大切な友人の一人であります。本日もこうして若い方が入会し、仲田年度が益々活気溢れる素晴らしい年度になるのではないかと、ワクワクした気分になって参ります。是非、全員一丸となって入会の呼びかけをして戴きたいと思致します。

また、インターアクトクラブ創設に際し、関実行委員長と喜内会員を中心として、特に若い委員会メンバーがロータリーに対する熱意を込めて活動して下さることに感動し感謝を申し上げます。インターアクトクラブ結成会議には多くの皆様のご出席をお願い致します。我々ロータリアンとしてこういった

行事に対しての応援をするべきであり、当日は南高校に集結して仲田会長のテーマを遂行して下さい。

ガバナー補佐となり、地区の行事に出席する事が多いのですが、他クラブと比べ当クラブでは地区役員が少ない事に淋しさを感じます。是非これからは宇都宮南ロータリークラブのインターアクトクラブの設立、夏期交換留学生受け入れと微力ながら私の役割を果たしつつ、第2550地区の中で、宇都宮南ロータリークラブの存在価値を高めていきたいと思っております。当クラブは、米山記念奨学会・ロータリー財団寄付に関して、地区内では毎年上位となり誇りに思うところです。

飯村慎一ガバナーは、熱心で勉強家、努力家で行動力があります。自分が飯村ガバナーより勝る事は何かと考えました。それは、ロータリー歴が長い事、皆出席である事、年齢が上だという事で、その他勝るところはございません。飯村ガバナーは素晴らしいガバナーですので、公式訪問の際はぜひ仲田会長を筆頭に、全員参加としてガバナーをお迎えして下さい。

先日、家内と共に藤代清治美術館に参りました。そこで、人間として生きる喜びを感じました。それは、テーマ「光と影のファンタジー」の藤代清治氏のメッセージにありました。

『この地球は、人間だけが住んでいる世界ではない。樹が繁り、美しい花が咲き、果実が実り、動物も鳥も魚も昆虫もみんな生きている。そして、光があり、空気があり、水がある。地球はこんなに素晴らしいんだと私は思う。私自身の光と影に取り組んでいる永遠のテーマに通じるものでもある。このときのキャッチフレーズは「地球に住んでいる人はもっと仲良くなれるはず」だったけれど、ほんとに、地球上のあらゆる生命あるものが、なかよく交流しあって生きるよろこびを感じとれる世界を創っているのだろうか。人間の人生にはまず光と影がある。影とは落ち込んだ時、失敗した時、挫折した時、もっとたくさんあると思う。光は成功した時、或いは高校大学の試験に受かった時、結婚した時、或いは仕事に成功した時。これも多々あると思う。』とっていました。

藤代清治の優しい言葉が好きで、そこに喜びを感じ、ロータリーの皆様の前でご披露致しました。この優しい言葉をロータリーに当てはめるとすれば、「ロータリーに何故入会しているのだろう。少しは奉仕したい、少しは役に立ちたい。」という社会に貢献したいと、お互いに尊敬し合える、語り合える仲間だと私は思っております。ロータリーの言葉をもう少し優しい言葉に置き換える事で、新入会員にも理解しやすくなると思います。奉仕についても理解するには大変時間がかかり、私自身も完全に理解したとはいえず、ただ漠然と30年間過ごしてきたような気がします。そういった意味で、もっと分かり易い言葉が必要とされます。

ロータリー財団夢計画はグローバル・新地区補助金の二つがありますが、グローバルは日本を含めたことで、新地区補助金は日本の奉仕活動の為に、分ける必要の有無を感じます。我々の浄財が難しく解釈し、申請しなくては補助金を得る事が難しいと感じます。この自分たちが出した補助金を自分たちが奉仕に使うのであれば、そこに申請する意味があるのだと思います。我が宇都宮南ロータリークラブもグローバル補助金、又は新地区補助金の申請に至りませんでした。これから申請に向けて一役二役も頑張って働き、補助金申請を成功させて働きたい。私達はダルマであってはいけない。手を伸ばし、足を伸ばし、前向きの姿勢を示すべきであると考えております。

仲田会長方針であります、5名純増を目標とし、出来れば50名の会員としたいという思いから、素晴らしい入会案内リーフレットを作成したことです。最大限の会員増強を図って働きたいと思っております。

青少年交換学生を含む「明日を担う人づくり」計画があり、グローバルな中で人材育成を図る財団です。私はクラブ内の人材育成も大切だと思っております。出来れば新旧の会員が交流し合い、早く打ち解けるようなクラブづくりを目指して働きたいと思っております。四つのテストを活用し会社に生かし

て戴きたい。

クラブの活性化は、退会防止に結びつくものだと思います。活性化は、基本原則を守り、原点を変えない事が大切であります。クラブ活性化は5代奉仕にあります。クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の5つがあります。最も大切なものはクラブ奉仕だと思っています。クラブ奉仕はロータリーの心臓部に当たり、当クラブではクラブ奉仕委員長に副会長がなっており、その中にプログラム・スマイル・親睦・出席があります。今年度のプログラム委員長の笠原会員が一所懸命に頑張っています。スマイルも大切に若林委員長よろしくお願ひします。親睦は最も大切な委員会ですのでよろしくお願ひします。出席は仲田会長がいつも全員出席を目指し、声を高くしてお願ひの意識の向上に向けてこれからもよろしくお願ひ致します。

私の母は103歳で亡くなりました。90歳の時に描いてくれた色紙を紹介します。これは私の大切な宝物で、母に貰った当初はこの意味が分かりませんでした。分からぬまま母は亡くなってしまいましたが、若い会員の皆様には「この世に生まれて本当に良かった」という人生をこれから歩んで欲しいと思うメッセージだと思います。私のように70歳を越え、80歳になり老いた時、「私の人生がこの世に生まれて本当に良かった」と思えるような人生を歩む意味を込めて書いてくれたのだと思っています。



最後に、10月16日の日本経済新聞に掲載された漫画家やなせたかし氏のコメントを紹介합니다。アンパンマンの著書やアニメーションで有名です。やなせ氏は60歳になってから書き出し、自分の体験が反映されているようで、印税の一部を被災地に寄付したりしています。やなせ氏の正義の味方は「まず飢えている人を救わなくては」とあります。この素晴らしい精神に感動しました。

宇都宮南ロータリークラブの益々のご繁栄を祈念します。

2013.10.16

## 春秋

アンパンマンの物語は、敵役のばいきんまんが魅力的だ。バイキン星からやって来たこの悪者、いつもアンパンマンにやっつけられているのに懲りないやつで、イタズラを繰り返しては泣きべそをかく。なにせドジな相手だから、ヒーローもあまり手荒いことはない。

▼幼児向けの絵本から始まったとはいえ、これほどごやかな争闘も珍しい。善と悪とは分かれている。ジャムおじさんの寛容、ロールパンナの二面性、ドキンちゃんの悪女ぶり……人間世界の縮図でもある。とはいえそこに憎悪は存在しないのだ。「倍返し」などといきり立たず、敵にさえ手を差し伸べる主人公である。

▼こういう世界をつくりだした漫画家、やなせたかしの胸の底には戦争体験があった。製菓会社に就職するが徴兵され、上海近郊で敗戦を迎えた。弟は特攻隊に志願するも船が撃沈され、フィリピン沖で散っている。ほんとうの正義とは何か。戦後ずっと考えつづけたやなせさんのメッセージが、作品にこもっている。

▼正義の味方というなら、まず飢えている人を救わなくては……。やなせさんはしばしばこう語っていた。だからアンパンマンは自らの顔をちぎってみなに分け与える。そして、そのために自分も傷つくのだ。声高に叫ぶ正義、敵をたたきのめす正義とは違つ価値観である。芯の本通った、その人の訃報をしみじみと聞く。



## クラブ協議会 各委員長方針発表及びガバナー補佐指導



## 出席報告 坂井俊司 委員

会員数 45名 前々回 10月6日  
 出席数 34名 訂正率 100%  
 欠席数 11名 地区大会  
 出席率 85.00%

## 次回例会

10月30日(水) 夜間例会  
 「紅葉狩り」  
 親睦・家族委員会



## プログラム

月 日	時 間	内 容
10月30日(水)	18:30~20:30	夜間例会「紅葉狩り」 親睦・家族委員会

月 日	時 間	内 容
11月6日(水)	12:30~13:30	ガバナー公式訪問 飯村慎一第250地区ガバナー
11月9日(土)	登 録 15:30 開 会 16:00 親睦会 18:10	第2550地区 インターシティーミーティング 東武ホテルグランデ
11月13日(水)	振替休会	11月9日地区 IM の為
11月20日(水)	12:30~13:30	ロータリー財団月間に寄せて
11月27日(水)	12:30~13:30	外部卓話：自衛隊地方本部長 一等陸佐 小林勇様



## 米山奨学生卓話（10月16日）

### 米山記念奨学会

### 米山奨学生 グエン・チョンダイ君



#### 【原文そのままを掲載】

みな様、こんにちは。

私は2006年3月に来日し、ベトナムから参りました NGUYEN TRONG DAI と申します。現在、作新学院大学大学院、経営学研究科で勉学しております。

今年の4月から光栄にロータリー米山奨学生に選ばれて、現在、宇都宮東ロータリークラブにお世話になっております。

今年はベトナムと日本の外交40周年記念になり、様々なイベントを開催されています。その中に、ベトナムと日本の友好関係のドラマが10月中旬に放送されました。多分、多くの方がご覧になったと思いますが、PHAN BOI CHAU という方がはじめ、現在、ホーチミン市内にある DONG DU（ドンズ）日本語学校で多くのベトナムの青年を日本への留学という目的で送られています。日本で勉学し、勉強したことや、日本での経験したことを活かしてベトナムと日本の架け橋に貢献する一員になりたいです。私はその一員です。

2005年に、高等学校を卒業し、ドンズ日本語学校にてベトナムの全国の学生から選抜試験で、ドンズ日本語学校に入学しました。そして、2006年に読売新聞の奨学生として来日し、東京日本語学校に通いました。新聞配達という仕事は大変でしたが、新聞社の社長が多くのお世話になって、経済面には心配なく済みました。だが、2008年4月から大学に入学し、一般の私費留学生になり、学費もちろん、生活費なども自分で学校に通いながら、アルバイトで稼いできました。月収は2万円もないベトナムの親から送金が期待できませんので、学校が忙しいにも関わらず、アルバイトをしなければなりません。

やはり、日本での留学生生活は思ったより大変です。それでも、大変の中で人間が成長してきます。もちろん、将来にはベトナムと日本の架け橋になりたいという夢は忘れていませんし、いつも頭の中に浮かんでいます。

それは行動に移せるチャンスがやってきました。去年の10月から今年の9月までという一年間で、宇都宮市内のオリオン通りの中でベトナム料理科カムオンをやらせていただきました。この企画は宇都宮市役所の「学生により空き店舗の活性化」という事業を合格し、宇都宮市内にまだ存在していないベトナムスペースを通して、日本人の方々にベトナムのことを紹介し、相互的に異文化の理解を促進する場です。大変に嬉しく思いながら、不安を抱えました。このスペースを運営するなら、アルバイトがもちろんできなくなり、どうやって日本での留學生活の費用を負担するのかを悩んでいました。光栄にロータリー米山奨学生に選ばれて、感謝の気持ちは言葉で言い切れないほどあります。そして、自分には誇りとして、原動力になりました。

この一年間で、多くの方々がお世話になっていただき、そして多くの方々との出会い、沢山の笑顔が拝見できました。交流場として大変に活躍できたと思っています。本当に、ロータリーアンの方々のおかげで、ここまで頑張ってきたことができました。

最終的にはもちろんベトナムと日本の架け橋に貢献できることです。私の最大の夢はベトナムでロータリー奨学会を創立することです。まだまだ力が足りませんが、私は一人ではありません。皆様の応援

は私の力になって、一步一步頑張りたいと思っています。

これからもベトナムと日本の関係は友好的に継続できますように祈りながら、頑張っていきたいと思っています。

最後になりますが、皆様のご健勝とご活躍を心から祈りしております。

ご清聴、有難うございました。

---